

General Contractors Association of HYOGO

# TRIANGLE

No. 265

2019 Spring-Summer

建設業界の魅力発信—[トライアングル]

**PICK UP!**  
**Engineer**

Tamagawa Yutaka



特集

建設業界にも「働き方改革」の波  
ワーク・ライフ・バランスの取り組みを



スタンド棟外観

## 災害に備える

会員の作品▶FILE 01

## 園田競馬場

(尼崎市)

## 耐震機能を強化し メインスタンドをリニューアル

### DATA

- 工事名……園田競馬場スタンド耐震補強  
その他建築工事
- 住 所……尼崎市田能2-1-1
- 構造等……鉄筋コンクリート造4階建  
(延床面積8,619.38㎡)
- 工 期……平成29年3月13日～30年12月7日
- 発注者……兵庫県・兵庫県競馬組合
- 設計・監理……(株)エアアンドディー設計企画
- 施 工……(株)中川工務店

尼崎市にある園田競馬場の4階建てのメインスタンドは、耐震診断の結果、震度6強の地震で一部倒壊または一部損壊の恐れがあることが判明。加えて、昭和35年に建設された施設内の老朽化が激しいことから、平成28年8月、耐震性能の強化と快適性の向上を目指して昭和5年の開場以来初となる大規模リニューアル工事が始まり、2期に分けて行われました。

スタンド棟を手掛けた第2期工事では、レースを開催しながら工事を進めるため、観客が入れるようスタンド棟を2工区に分けて実施。耐震補強として、接着鉄骨プレス、在来鉄骨プレス、RC耐震壁、Sポスト補強、頬杖補強、屋根水平プレス、構造スリットを施工しました。その結果、同施設のIs値(耐震指標)は、0.75以上という市指定避難場所の基準に対し、場所によっては1.00を超え、全ての箇所で0.753以上が確保されました。

「お客さまに加えて、馬への配慮が求められた点が他の案件と大きく違うところでした」と振り返るのは、施工を担当した(株)中川工務店の守山和彦さんです。工事中に発生する音や光が競走馬に影響を与えないよう、1日のスケジュールを競馬開催者に事前に確認し、馬が場内に居るときは騒音の発生しない作業内容へと変更するなど臨機応変に調整することに心を配ったといいます。

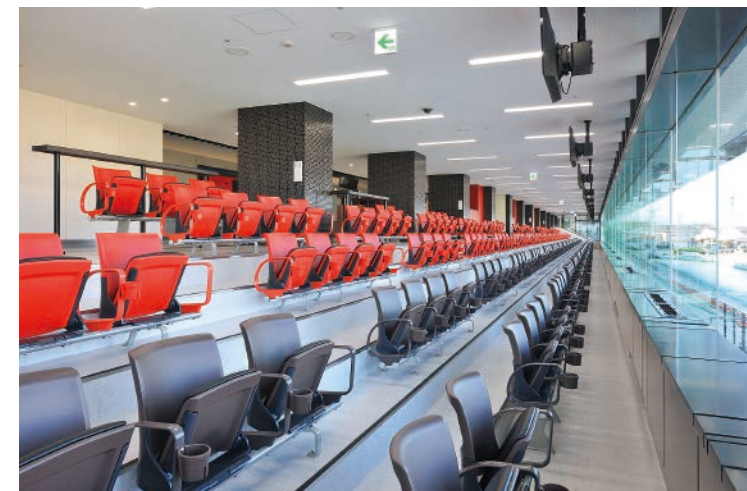
併せて行った内外装・設備の改修では、観覧席に新たに個室を設けたり、特別観覧席の有料シートを1種類から3種類にバリエーションを増やしたりと内容を充実。関係者が一体となって熟慮を重ね、快適で安全な施設へと生まれ変わったスタンド棟は、平成30年12月にグランドオープンしました。



▲1階ファン通路



着手前



▲3階観覧席



▲4階特別観覧席

## CONTENTS

### 災害に備える……01

園田競馬場(尼崎市)

### 特集

### 建設業界にも 「働き方改革」の波……03

### ワーク・ライフ・バランスの 取り組みを

ひょうご仕事と生活センター

事例▶(株)巴建設(豊岡市)……07

### 協会NEWS……09

■第70回定時総会を開催

■[現場実習報告]

日本工科大学校

県立東播工業高校 ほか

### わがまち自慢……21

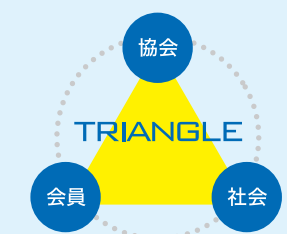
淡路支部

### 期待の技術者……31

窪田工業(株)(神戸市) 玉川 豊さん

### ■冊子タイトル「TRIANGLE」について

地域と共に生きる兵庫県建設業協会の広報誌として、日本語で三角形を意味するトライアングルのように「協会と会員、そして社会」がバランス良く調和し、美しい音色を奏でるように一との願いから命名されました。



# 建設業界にも 「働き方改革」の波

## ワーク・ライフ・バランスの取り組みを

特集

今年4月から「働き方改革関連法」が順次施行されています。建設業では時間外労働の上限規制のみ5年間の猶予があるものの、長時間労働の是正に代表される働き方改革の取り組みは、どの企業にも必要不可欠なものとなっています。

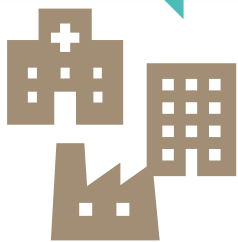
しかし、「何から始めていいのか分からない」「ウチはそれどころではない」という声が多く聞かれるのも事実です。そこで、企業のワーク・ライフ・バランス（仕事と生活の調和）実現に向けた取り組みを応援している「ひょうご仕事と生活センター」に、取り組みのメリットや具体的な方策を紹介していただきます。

### ワーク・ライフ・バランス実現のメリット

ワーク・ライフ・バランス（WLB）とは、仕事にやりがいや充実感を感じ、責任を果たしながら、その一方で子育てや介護、家庭や地域での生活、自己啓発などといった、個々の私生活も

充実させるという考え方です。「仕事」と「生活」の「調和」を図ることは、豊かで充実した人生を送るための必須条件です。

WLBの取り組みで  
成果を挙げている  
企業の声



#### 優秀な人材の確保・定着

- 優秀な従業員が安心して働き続けられる……………(WEB制作会社/従業員23人)
- 離職率が大幅に低下した……………(病院/従業員294人)
- 採用活動に反映される……………(情報通信業/従業員127人)

#### 能力・意欲の発揮

- 多様な能力が十分に発揮される……………(病院/従業員221人)
- イノベーションを起こし、多くの知恵が結集される……………(医療/従業員192人)
- 従業員が仕事の仕方を工夫することが増えた……………(建材加工業/従業員106人)

#### 時間管理・業務効率向上

- 業務の効率化や残業時間削減を図ることができた……………(卸売業/従業員27人)
- 限られた時間を大切に、生産性が向上した……………(情報通信業/従業員74人)
- 仕事の優先順位を考え、残業が削減できた……………(卸売業/従業員179人)

#### 明るい職場風土の醸成

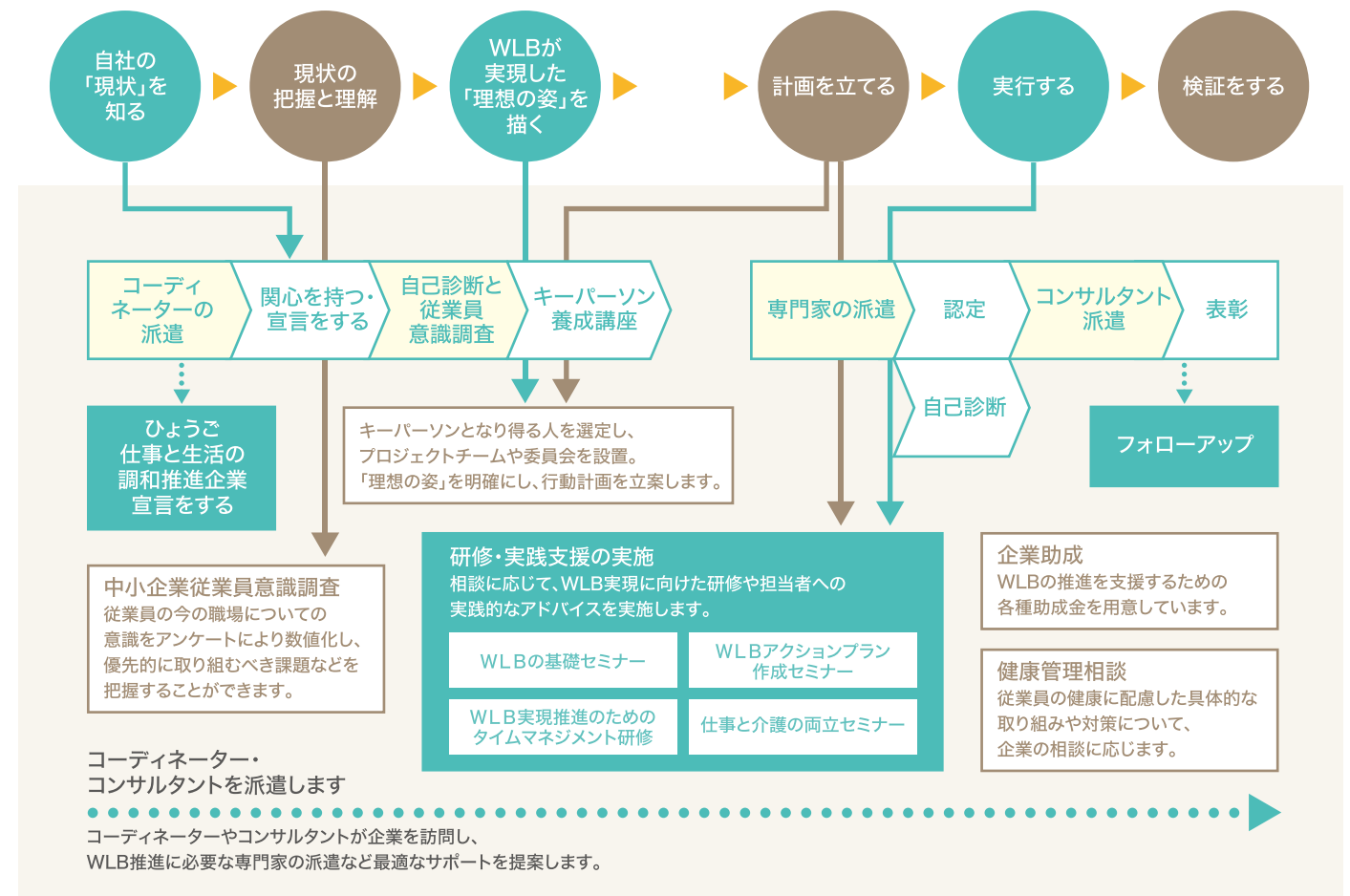
- お互いさま意識や助け合う風土が生まれる……………(販売業/従業員371人)
- 職場の雰囲気が良くなり、自発性が育つ……………(病院/従業員175人)
- 従業員が気軽に声を掛け合う風土が形成される……………(製造業/従業員2,456人)

### ひょうご仕事と生活センターの支援事業 支援メニューは全て無料！

センターでは、WLBに取り組みたい企業をコーディネーターやコンサルタントが訪問し、これまで多くの企業の実践支援で蓄積した事例やノウハウを基に課題を整理し、WLB実現

に向けての最適なサポートを提案。企業の実態に応じて、専門家派遣、研修の企画・実施、費用助成、従業員意識調査など、さまざまな支援を無料で行っています。

#### ひょうご仕事と生活センター支援の流れ



### 「ひょうご仕事と生活の調和推進企業宣言」で支援がスタート

センターの支援を受けるにはまず、「ひょうご仕事と生活の調和推進企業宣言書」を提出する必要があります。宣言企業は令和元年7月末現在、2,021社です。

### 自己診断と従業員意識調査

#### ①自己診断

ウェブ上で自社のWLB実現度を測定できるシステム。計39項目に回答すれば、自組織のWLB実現度が4段階で表示されます。さらに、有給休暇の取得率や総労働時間などは同業

種・同規模の全国統計とも比較します。回答に要する時間は約10分。ぜひ、組織の現状把握にご利用ください。

#### ②従業員意識調査

従業員の働き方や職場環境を改善したい企業に対して、従業員の仕事や私生活に関する意識を調査し、働き方改革を妨げる原因や改善の課題を分析。その結果、優先的に取り組むべき課題が明らかになり、将来を見据えた対策を取ることができます。

WORK LIFE BALANCE

■研修・実践支援

企業が研修を実施する場合には、センター登録の専門家(中小企業診断士や社会保険労務士など)を講師として派遣。テーマの選定に当たっては、センターのコーディネーター、コンサルタントが自己診断、従業員意識調査やヒアリング結果を基に、企業担当者と一緒に考えます。

■企業助成

企業のWLB推進を費用面から支援するため、中小企業向けに助成金を用意しています。

|        | 中小企業育児・介護等<br>離職者雇用助成金                                                                                                 | 中小企業育児・介護<br>代替要員確保支援助成金                                                                                                          | 仕事と生活の調和推進<br>環境整備支援助成金                                                                                                                              |
|--------|------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|-----------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
| 事業主規模▶ | 企業全体の従業員が300人以下<br><br>申請に係る事業所の従業員が20人以下<br>(会社法で定義する株式会社等は100人以下)                                                    |                                                                                                                                   |                                                                                                                                                      |
| 支給対象▶  | 過去に企業等を、結婚、妊娠、<br>出産、育児、配偶者の転勤、<br>介護で離職した人を新たに雇用                                                                      | 従業員の①育児・介護休業または<br>②育児・介護短時間勤務に対し、<br>代替要員を新たに雇用                                                                                  | 女性や高齢者の職域拡大や多様で<br>柔軟な働き方の促進を目的として<br>行う職場環境(ハード)整備                                                                                                  |
| 支給額▶   | 正社員：50万円<br>短時間勤務正社員：40万円※<br>非正社員<br>(フルタイム勤務)：20万円※<br>(フルタイム以外)：10万円<br>ただし社会保険被保険者に限る<br>※国の両立支援等助成金の<br>受給対象は差額支給 | ①休業コース<br>代替要員の賃金の1/2<br>[上限額]<br>月10万円、総額100万円<br>②短時間勤務コース<br>時短分の代替要員の賃金の1/2<br>[上限額]<br>育児…月2万5,000円、小3まで<br>介護…月10万円、総額100万円 | 対象経費の1/2(上限200万円)<br>■女性(男性)や高齢者の職域拡大<br>▼<br>専用更衣室、高齢者用手すり設置 等<br>■多様な働き方導入<br>▼<br>在宅勤務システム、託児スペース等<br>■その他の職場環境改善<br>▼<br>コミュニケーション活性化のための<br>休憩室 |

**助成金活用例 金属部品加工業：1社**

かつては女性社員がほとんどおらず、更衣室やトイレは男女共用でした。センターから約180万円の助成を受けて女性用の更衣室とトイレを整備し、女性社員を新たに雇用、社員の負担を減らしました。今では女性社員が全体の3割に。職場環境が整備されたことでコミュニケーションが活発になり、離職率も低下しています。



助成金を活用し整備した女性専用更衣室とトイレ

**テーマ例 仕事と介護(育児)の両立、タイムマネジメント、ハラスメント対策、WLB基礎講座 等**

さらに、企業が具体的にWLBを進めるに際しては、センタースタッフや専門家を派遣し、生産性向上・業務内容の見直し、短時間勤務や在宅勤務など両立支援制度の導入、制度を活用できる職場風土づくりなどについて実践的なアドバイスをを行い、継続的にフォローします。

■企業顕彰

①認定企業  
WLBに積極的に取り組み、一定の成果を挙げている企業を認定し公表しています。

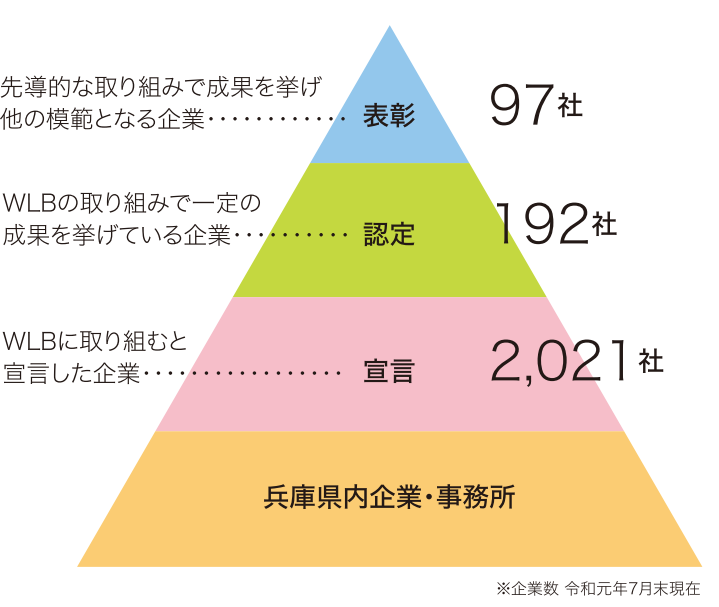
- 認定のメリット
- センターHP等で認定企業名や主な取り組み内容を広報するので、企業イメージがアップします。
  - ハローワークの求人票や求人広告などで認定企業であることをPRできます。
  - 県と連携協定を結んでいる金融機関等で、優遇金利の融資など金融面での支援が受けられます。

②表彰企業  
認定企業を対象に募集し、審査の結果、先導的な取り組みで他社の模範となる企業を毎年10社程度選定しています。

- 表彰のメリット
- センターHP、神戸新聞等で企業の具体的な取り組み内容を写真入りで紹介します。
  - 11月に兵庫県公館で開催するワーク・ライフ・バランスフェスタで県知事等から表彰します。
  - 取り組みを紹介した「WLBな会社ガイド」を2万部作成し県内の大学や専門学校等に配布します。

建設業界の企業へのメッセージ

建設業は他の産業と比べて労働時間が長く、有給休暇も取りづらい状況にあり、WLBの取り組みを進めるのはなかなか難しいのが実態ではないでしょうか。  
このままでは働き手の確保がさらに厳しくなっていくことが予想されます。日本の基幹産業としてあるべき建設業に従事する人たちが、誇りを持てる職場環境にするためには、働き方改革に取り組み、働きがいのある、働きやすい職場づくりに取り組んでいただく必要があります。センターはWLB推進に取り組む企業のお手伝いをしています。どうぞお気軽にご相談ください。



公益財団法人兵庫県勤労福祉協会  
ひょうご仕事と生活センター  
TEL.078-381-5277  
神戸市中央区下山手通6-3-8 兵庫県中央労働センター 1階

詳細は [ひょうご仕事と生活センター](#) 



スマートフォン、タブレットからも  
アクセスできます

WORK LIFE BALANCE

ひょうご仕事と生活センターに対してWLBに取り組むと宣言した2,021社のうち、建設業の企業は195社。そのうち、認定企業となったのはわずか11社、表彰されたのは4社です。表彰企業では、どのような取り組みが進められているのでしょうか。平成25年度に「第5回ひょうご仕事と生活のバランス企業表彰」を受賞した(株)巴建設の新免将社長に、同社のWLBについて伺いました。

- ・定期的な社内行事で積極的なコミュニケーション
- ・地域行事など私用優先に寛容な社風
- ・週休2日を前提とした工程管理
- ・資格取得にかかる費用を全面負担
- ・グループウェアによりウェブ上で社員のスケジュールを共有・管理
- ・地元の小中学校への寄付など積極的な地域貢献

巴建設の  
主な  
WLB



—WLBに取り組むきっかけを教えてください。

私が家業を継ぐために入社した平成17年ごろは、ちょうどベテランが退職し若い社員を迎える入れ替わりの時期で、コミュニケーションを密に取る必要を感じました。この仕事は気持ちの面でのつながりが大事なので、普段から食事に誘ったり、社内レクリエーションを定期的に催したりしてお互いに率直に話をする機会を持つようにしてきました。

● ● ●

—どのような社内レクリエーションをしているのですか。

新年会に忘年会、バーベキュー大会など年に10回ほど、全体で集まる行事を開いています。また、社員旅行は年2回、プロジェクトが進行中で動けない人もいるのでいずれかに参加できるようにし、行き先は社員アンケートで決めています。その他、毎月の全体会議の後もみんなで食事に行っています。

● ● ●

—社員の私用優先に寛容な社風と聞きました。

この辺りは「共助」の側面が強く、住民一人一人が地域の戦力です。社員の私生活においてもいまだに隣保制が残っており、近所に不幸があれば向こう三軒両隣が総出で葬式を挙げますし、地区の草刈りなど日常的にさまざまな用事があります。なので、いくら社員であっても地域の活動をおろそかにするような縛り方はできません。そのため、みんなには常々「地域の用事はわざわざ申請しなくても、自分で段取りをしてくれたら勝手に休んでいいよ」と伝えています。兼業農家も多いので、それについても同じです。要は、仕事に穴を開

けないように工夫をしてくれればそれでOKというスタンスです。地域の建設企業は地元根差さなければやっていけませんから、できるだけ地元の皆さんと円滑な関係を築けるよう心掛けています。

● ● ●

—柔軟な働き方を認めているということですね。

受注したプロジェクトが立ち上がったならそこに集中して、「工期内に高品質のものを」というのは最低限守るべきことですが、それ以外の期間については会社員としてのルールの自由度を高めてあげたいと思っています。プロジェクトが終わったら1カ月ほど充電期間をつくってゆっくりしてもらおうようにしており、その間は必要な時に電話にさえ出ればあとは基本的に何をしても自由です。昨日の昼間も現場のトップと若い社員たちがみんなでウナギ釣りに行っていましたよ。河川工事などでお世話になっている漁業組合から会社で遊漁券を買っており、それを持って船を出すのです。20代の子も巻き込んで楽しくやってくれているのがいいと思いますね。ものをつくりながらアイデアも出していかなければならない仕事なので、仕事以外の経験が創造力を高めることにもつながります。

● ● ●

—建設業では残業時間の多さや休日の少なさが大きな課題になっています。御社ではどうですか。

今、週休2日制の導入に挑戦しており、工程管理の中に休みをしっかりと組み込むようにしています。もちろん、プロジェクトの状況によっては難しいこともありますが、その場合も自

分たちで順番に休みを取るようにしています。残業も同様で、どうしても必要なときは頑張ってもらいます。ただ、必要でないときはできるだけ早く帰るようにと伝えています。

● ● ●

—社員の資格取得の後押しもされているそうですね。

試験会場までの交通費も含め、資格取得にかかる費用は会社で出しています。普段から社員には「建設業に関係なくてもいいから、年に一つは新しい資格に挑戦するように」と言っており、宅地建物取引士やコンクリート技士をはじめ、いろいろな資格を取得してくれています。正直、試験に通らなくてもいいのです。仕事をしながら短期的な目標のために時間をやりくりして勉強する癖がつくと、挑戦する勇気生まれ、モチベーションも上がります。そして、資格が取れると優位性を持てますから。

● ● ●

—WLBの効果はどのような点で実感されていますか。

完成工事高が上がっていますし、国土交通省近畿地方整備局から「工事成績優秀企業」の表彰を受けるなど、品質自体が格段に高まっていると感じますね。また、社員たちが会社のことに積極的に関わってくれるようになりました。求人時

には「ひょうご仕事と生活のバランス企業表彰」の受賞をPRさせてもらっているので、この人手不足の中でも希望者は増えています。

● ● ●

—WLBの取り組みで今後、新展開は予定されていますか。今はグループウェアを使って個々のスケジュールをウェブ上で管理しているのですが、さらに踏み込んだシステムの導入に向けて開発を進めているところです。それが完成したら現場の状況を会社でもリアルタイムで把握できるようになり、情報を共有できる分、手間が一つ減って仕事を合理化・効率化できます。また、資材関係を集約するセンターもつくろうとしており、そこでも現場に出る社員の仕事の一つ減ります。会社が環境を整備することによって社員たちが自由な時間をさらにつくりやすくなり、「ライフ」の部分がより充実するよう手助けできればと考えています。

(株)巴建設

豊岡市日高町岩中322 従業員数／15人



今年8月に開催された社員旅行の様子。行き先は淡路島



## 社員の声

土木工事部  
今井啓太さん  
(平成20年入社)

約11年前、入社当日に行われた弊社定例会議後、新免社長をはじめ部長や諸先輩方全員で歓迎会まで開いていただき、温かく迎えられました。それが僕のスタートでした。入社後、数年で1級土木施工管理技士を取得したのも、会社全体で資格取得のバックアップ体制が充実していたからこそ実現できたのだと思います。また、新免社長を先頭に会社全体で休日を取得しやすい環境にいただいているので、小学校や地区の行事に積極的に参加することができています。おかげで家族からの仕事に対する理解を得られ、与えられたプロジェクトにも責任を持って取り組んでいます。

## 兵庫県建設業協会 「第70回定時総会」を開催



6月11日、「第70回定時総会」を兵庫建設会館3階のアクシスホールで開催しました。川嶋実会長による開会のあいさつの後、兵庫県の井戸敏三知事、国土交通省近畿地方整備局の黒川純一良局長、神戸市財政部契約管理課の桑村佳孝課長から祝辞をいただきました。

続いて行われた表彰式では、川嶋会長から、黄綬褒章を受けられた宇都宮秀市氏と葉坂年弘氏をはじめ、国土交通省建設事業関係功労者大臣表彰と兵庫県功労者表彰を受けられた6人に記念品が贈呈されました。また、建設業界の発展に貢献された会員・従業員73人に対して（一社）全国建設業協会会長表彰の伝達と、132人・1企業に対して当協会会長表彰が行われました。

その後、平成30年度収支決算などが審議に付され、いずれも原案通り可決されました。



受章・受賞者を代表して謝辞を述べる宇都宮氏

### 開会のあいさつ



川嶋 実  
兵庫県建設業協会会長

当協会の前身である兵庫県土木建築請負業組合が大正8年4月に設立され、今年で100年を迎えました。平成から令和へ、時代の転換期に新たなスタートを切ります。

本年度の建設投資は国、県ともに前年度を上回る予算が計上されました。しかし、地域建設業者は依然として厳しい経営環境に置かれています。建設産業が将来にわたって社会的役割を果たすためには、持続的・安定的な事業量を通じて利益を確実に確保できる仕組みづくりが不可欠です。引き続き、受注者の立場から提案要望を行っていきます。

今年4月に働き方改革関連法が施行され、建設業には5年の猶予期間があるものの、長時間労働の是正は待ったなしの状況です。変化に対応する適応力を培い、事業展開を図り、努力していく必要があります。

「地域が頼れる」「責任ある」「希望の持てる」協会の実現に向け、令和元年度も事業計画に基づき、時代の要請に対応した活動を積極的に展開していきます。また、県建設業育成魅力アップ協議会と連携しながら建設業の魅力を発信し、イメージアップを図ります。さらに、インターンシップやリカレント研修、産官学一体となった若者の入職促進・育成、i-Construction推進に向けた取り組みなどにより、働きがいのある職場づくりを目指します。



井戸 敏三  
兵庫県知事

本年度の兵庫県当初予算では、投資的経費を約2割伸ばすことができました。国の「防災・減災、国土強靱化のための3か年緊急対策」が事業化されたからであり、本県でも補助事業として235億円、単独事業として100億円ほど上積みしました。県としては、国に対してこの3か年の特別枠の延長と、安全・安心投資をしっかりと確保できるようにしてほしいと要請しているところです。

これはデフレ対策にもなります。併せて、阪神・淡路大震災の経験や教訓を生かして南海トラフに備えることが、ひいては安全投資の充実にもつながります。しっかりと皆さまと協力しながら国を動かすことができると期待しています。

人手不足の問題も続いています。本年度は、女子高校生と建設業界に就職している女性との対話の機会設置も検討しています。ものづくり企業にも女性にふさわしいポジションや仕事分野があるんだということを、若い女性が目を向けてくれるように情報発信し続けていきたいと考えています。

最後に、今後もいろいろなかたちで兵庫県政を支えていただく兵庫県建設業協会が100周年を契機にますます発展し、各会員企業が着実な歩みを続けられることを心から祈念しています。100周年おめでとうございます。

### 祝 辞



黒川 純一良  
国土交通省近畿地方整備局長

この場をお借りして2つ、お話しします。1つはこれからの事業展開の見込みです。昨年、通常予算とは別に「防災・減災、国土強靱化のための3か年緊急対策」として今後3年間で総額7兆円をいただけることになりました。人手不足でいろいろな制約がある中、多くの仕事を皆さんと一緒に執行し成果を出すために、われわれもやり方を変えていきます。

具体的には、設計積算には見積もりを積極的に活用し、最後に実際にかかった額を支払います。また、余裕工期を最大限活用した形で発注します。さらに、今まで直接お付き合いがなかった会社などの力も借り、いわゆるチャレンジ型の仕事の出し方をしていきます。

2つ目は持続的な建設業の発展について。そのためには労務単価の引き上げなどの「給与と社会保険」、週休2日制を念頭に置いた工期設定など「長時間労働の是正」、そしてi-Constructionをはじめとした「生産性改革」の取り組みが必要だと思っています。近畿地方整備局は、こうした取り組みを進めるに当たって、最もホワイトな発注者になることをお約束します。そして、国土強靱化防災・減災の取り組みや、2025年の大阪・関西万博に向けた未来を見据えた施設整備を皆さんと手を組んでやっていきたいと思っています。どうかよろしくお願いいたします。



桑村 佳孝  
神戸市財政部契約管理課長

本年度は明治22年に神戸市が誕生してから130周年、また阪神・淡路大震災から25年という節目の年です。市では、全世代を対象にした社会保障政策に加え、これまで以上のスピード感で時代の変化に対応し、神戸をさらなる高みへと押し上げていく取り組みに力を入れたいと考えています。

その基本となる令和元年度の市の投資的経費は、前年度を約90億円上回る約900億円超の事業費を確保しました。地元企業の受注機会と市民の雇用確保を図ることから「市民の暮らしに身近な投資」と銘打ち、公共事業の促進を神戸経済の活性化につなげていきたいと考えています。

公共事業を発注する際には、これまでも分離分割を基本に、地元企業が受注しやすいような環境づくりに心を砕いてきました。また、引き続き施工時期の平準化に力を入れていきたいと思っています。年間を通じた工事量を安定的に確保し、建設業界の皆さんの人材や資機材の効率的な活用、担い手の処遇改善につなげることが、ひいては企業経営の健全化につながっていくものと考えています。これらを総合的に進めていくことで、今後も神戸経済の原動力である地元企業の育成と経営の安定化、そして暮らしの基盤となる雇用を守ることに全力で取り組んでいきます。

## 建設業の発展を支える栄光の礎 令和元年 春の褒章・表彰

### 黄綬褒章

葉坂 年弘氏 ■津名土木(株) 代表取締役

5月21日、多年にわたり建設業に従事し、国土交通関係業務に精励するとともに、業界団体の役員として業界の発展に寄与した功績により受章されました。



### 国土交通大臣表彰 (建設事業関係功労)

松田 隆氏 ■(株)松田組 代表取締役社長

7月10日、多年建設業に精励するとともに、関係団体の役員として地方業界の発展に寄与した功績により表彰されました。

### 兵庫県功労者表彰 (土木建設功労)

加藤 雅宣氏 ■(株)加藤工務店 取締役会長

木嶋 三春氏 ■(株)木島組 代表取締役

立花 充氏 ■(株)ノバック 代表取締役社長

永岡 準司氏 ■(株)永岡組 代表取締役社長

永年建設業団体の役員として業界の向上発展に努められた功績により表彰され、5月29日には神戸市中央区の兵庫県公館で表彰式が行われ、井戸兵庫県知事から表彰状と記念品が贈呈されました。

### ■ 建築施工管理技士会 ■ 「第3回定時総会」と 「講習会」を開催

5月23日、兵庫県建築施工管理技士会の「第3回定時総会」が兵庫建設会館で開催され、会員47人が出席。近畿地方整備局営繕部の福岡営繕調査官、兵庫県県土整備部住宅建築局営繕課の朝倉課長、(一財)建設業振興基金の西村理事、当協会の川嶋会長を迎え、平成30年度収支決算、令和元年度収支予算、役員の選出等が承認されました。

引き続き開催された「第1回講習会」には、会員など55人が参加。近畿地方整備局営繕部の足立営繕品質管理官が「建設現場の現状と官庁営繕における取り組み」と題して、また、兵庫県県土整備部住宅建築局営繕課の朝倉課長が「これからの公共施設整備の課題と実例」と題して講演しました。



### ■ 土木施工管理技士会 ■ 「第42回通常総会」と 「技術研修会」を開催

兵庫県土木施工管理技士会の「第42回通常総会」が5月10日、兵庫建設会館で開催され、会員102人が出席。近畿地方整備局の宮川技術調整管理官、兵庫県技術企画課の多田課長、当協会の川嶋会長を迎え、平成30年度事業報告、令和元年度事業計画、理事の選出等が承認されました。

引き続き開催された「第1回技術研修会」には会員など201人が参加し、3人の講師による講演に熱心に聞き入りました。

#### 講演者とテーマ

近畿地方整備局 宮川技術調整管理官  
建設行政を取り巻く最近の話題

兵庫県技術企画課 多田課長  
令和元年度兵庫県県土整備部主要施策

(株)トプコン スマートインフラ事業本部  
スマートインフラマーケティング部 営業企画課  
室伏シニアエキスパート  
はじめの一步 ～ICT施工版～



### ■ 建設産業団体連合会 ■ 「第5回定時総会」と 「特別講演」を開催

兵庫県建設産業団体連合会の「第5回定時総会」が6月6日、兵庫建設会館で開かれました。兵庫県の荒木副知事、近畿地方整備局建政部の佐藤部長、兵庫県議会の小西副議長、(一社)全国建設産業団体連合会の竹澤専務理事などを迎え、平成30年度収支決算、役員の選任等が承認されました。

引き続き開催された「特別講演」では、アスミル社会保険労務士事務所の櫻井代表が「建設業における働き方改革について」と題して講演しました。

### 近畿地方整備局と 近畿建設青年会議が 「意見交換会」を開催

8月5日、当協会青年部会が参画する近畿建設青年会議と近畿地方整備局が、近畿地方整備局で「意見交換会」を開催しました。近畿地方整備局からは、企画部長、統括防災官等が出席。地域ごとの工事発注状況等、担い手確保対策、i-Constructionの取り組みという3つのテーマについて、積極的に意見を交わしました。



## 「建設業社会保険 加入推進地域会議」を 開催

6月6日、兵庫建設会館で兵庫県、近畿地方整備局、兵庫県建設産業団体連合会などの主催により「兵庫県建設業社会保険加入推進地域会議」が開かれ、県内に拠点を置く建設業者等が参加。社会保険加入対策を進めている㈱松田組が同社での取り組み事例を発表したほか、「社会保険加入を進めるにあたって守るべき行動基準」が採択されました。



## 「第13回 建設ふれあいまつり」を 開催

7月20日、「第13回建設ふれあいまつり」を兵庫建設会館で開催しました。(一社)全国建設業協会が毎年7月を「建設業社会貢献活動推進月間」と定めていること、全国建設青年会議が7月28日を「全国建設青年の日」としていることから、当協会と青年部会がその趣旨に賛同し社会貢献活動の一環として主催したもので、ものづくりや建設業に触れる体験などを通して、子どもたちに建設業の魅力をアピールしました。

会場では、椅子などを制作する木工体験や丸太早切



り競争、建設機械の試乗体験のほか、(一社)兵庫県産業資源循環協会青年部の協賛によるペットボトルで作るプレスレットやエコキャップアート、パッカー車の展示・試乗など、多彩な企画を展開。小学生やその保護者など約300人の参加者でにぎわいました。

## 「建設業社会貢献活動 推進月間中央行事」で 会員3社に表彰

7月24日、東京都千代田区の経団連会館で(一社)全国建設業協会による令和元年度「建設業社会貢献活動推進月間中央行事」が開催されました。優れた社会貢献活動の功労者に対する表彰式では、当協会の会員からは、平成30年台風第21号で浸水した関西国際空港や同年7月豪雨による被災地での災害復旧支援活動の功績により㈱川嶋建設、金下建設㈱、㈱平野組が表彰されました。

## 「佐藤のぶあき 個人演説会」を開催

第25回参議院議員通常選挙の投票日を間近に控えた7月13日、神戸市中央区のANAクラウンプラザホテル神戸で自由民主党公認候補の佐藤のぶあき氏の「個人演説会」を開催しました。当協会の川嶋会長のあいさつで幕を開けた会には、建設産業の振興や建設業界の発展に尽力する佐藤氏の応援に、多くの国会議員、兵庫県議会議員らが集結。谷公一衆議院議員、末松信介参議院議員をはじめ、原吉三兵庫県議会議員や兵庫県選挙区に立候補しているかだ裕之氏が激励の言葉を贈りました。最後は佐藤氏が決意を表明した後、参加者全員によるガンパローコールで会を締め、選挙での必勝を誓いました。

なお、第25回参議院議員通常選挙では、当協会が推薦する佐藤のぶあき氏、かだ裕之氏、高橋みつお氏の3人全員が当選を果たしました。

令和元年度の各種講習会・セミナー

| 分 野       | 項目・内容                                                                                                             | 対象者         | 開催時期等                                              |
|-----------|-------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|-------------|----------------------------------------------------|
| 経営改善      | 経営管理講習会<br>建設産業の若者を定着させる働き方改革の理論と実践<br>(西日本建設業保証(株)事業)                                                            | 経営者<br>経営幹部 | 11月(予定)                                            |
|           | 建設産業育成支援セミナー<br>( (公財)日本建設情報技術センターとの共催)                                                                           | 実務担当者       | 尼崎7月9日<br>淡路7月23日<br>姫路7月24日<br>神戸7月25日<br>豊岡9月4日  |
| 技術向上      | ①建設関係新技術の活用及び情報化施工の推進<br>②入札・契約制度及び建設業法の概説<br>(近畿地方整備局出前講座)                                                       | 実務担当者       | 12月(予定)                                            |
|           | ドローン業務活用人材開発助成事業<br>(ドローンフライト講習受講者の受講料の一部を助成)                                                                     | 実務担当者       | 8月7日～3月31日                                         |
|           | リカレント研修助成事業<br>(リカレント研修受講者の受講料の一部を助成)                                                                             | 実務担当者       | 10月9日、10日、29日、<br>30日、11月20日、21日、<br>12月 5日、6日の8日間 |
|           | 新技術発表会<br>NETIS(新技術情報提供システム)に登録された技術<br>(土木関連技術など)を紹介します。                                                         | 実務担当者       | 12月(予定)<br>(CPDS認定)                                |
|           | 土木技術研修会<br>(兵庫県土木施工管理技士会・三田建設技能研修センターとの共催)                                                                        | 実務担当者       | 年4回(予定)<br>(CPDS認定)                                |
|           | 建築技術講習会<br>(兵庫県建築施工管理技士会との共催)                                                                                     | 実務担当者       | 年4回(予定)<br>(建築CPD認定)                               |
|           | 施工計画能力向上QCDSの基本講座<br>品質(Q)原価(C)工程(D)安全(S)は施工計画の基本<br>QCDSを体系的に学んだことがない方を対象に、ケーススタディーを<br>通じてQCDSの管理ポイントへの理解を深めます。 | 実務担当者       | 11月(予定)<br>(CPDS認定)                                |
| 生産性<br>向上 | 工事運営のコミュニケーション場面に強くなる講座<br>あなたの対応力が工事運営を変える<br>施工管理を担う技術者にとって大切な対外交渉(発注者、近隣、<br>協力業者)に係るコミュニケーション能力を強化します。        | 実務担当者       | 12月(予定)<br>(CPDS認定)                                |
|           | 建設業の情報化セミナー等<br>(三田建設技能研修センターとの共催)                                                                                | 実務担当者       | 県内6会場25回<br>(CPDS認定)                               |

| 分 野       | 項目・内容                                                                                                           | 対象者           | 開催時期等                                                |
|-----------|-----------------------------------------------------------------------------------------------------------------|---------------|------------------------------------------------------|
| 法令遵守      | 建設業法研修会(再掲:土木技術研修会と調整)<br>(兵庫県土木施工管理技士会・三田建設技能研修センターとの共催)                                                       | 実務担当者         | 年4回(予定)<br>(CPDS認定)                                  |
|           | 暴力追放研修会<br>(兵庫県建設業暴力追放協議会との共催)                                                                                  | 実務担当者         | 各支部                                                  |
| 環 境       | 建設廃棄物処理に係る講習会<br>建設廃棄物のさらなる適正処理の推進を目的として、<br>廃棄物処理法を含め、法令遵守を広く個々の企業に促します。<br>(建設六団体副産物対策協議会との共催)                | 実務担当者         | 県内8会場9回<br>(CPDS認定)<br>(建築CPD認定)                     |
| 担い手<br>育成 | 建設労働者緊急育成支援事業<br>(建設業振興基金事業)                                                                                    | 就職希望者         | 年3回                                                  |
|           | 建設人材新入社員研修<br>(西日本建設業保証(株)事業)                                                                                   | 新入社員<br>(40人) | 5月8日～10日                                             |
| 資格取得      | 1級土木施工管理技術検定受験準備講習会<br>-----<br>2級土木施工管理技術検定受験準備講習会(学科のみ)<br>-----<br>2級土木施工管理技術検定受験準備講習会<br>(三田建設技能研修センターとの共催) | 受験予定者         | 5月8日～10日<br>-----<br>4月18日～19日<br>-----<br>9月18日～20日 |
|           | 1級建築施工管理技術検定受験準備講習会<br>-----<br>2級建築施工管理技術検定受験準備講習会<br>(三田建設技能研修センターとの共催)                                       | 受験予定者         | 5月15日～17日<br>-----<br>9月11日～13日                      |
|           | 2級建設業経理士受験準備講習会<br>(三田建設技能研修センターとの共催)                                                                           | 受験予定者         | 1月下旬または2月上旬                                          |
|           | 3級建設業経理事務士特別研修会<br>4級建設業経理事務士特別研修会<br>(主催:(一財)建設業振興基金)                                                          | 受験者           | 7月～11月で各月1回                                          |
|           | 給水装置工事主任技術者試験準備講習会<br>(三田建設技能研修センターとの共催)                                                                        | 受験予定者         | 8月28日～30日                                            |
|           | 仮設安全監理者資格取得講習会<br>(三田建設技能研修センターとの共催)                                                                            | 受験予定者         | 4月26日<br>7月19日<br>10月25日                             |
|           |                                                                                                                 |               |                                                      |

(注)入札契約制度や情報化施工等の分野に関する講習会の必要性が生じた場合には、関係機関と協議の上、タイムリーに追加開催します。

## 学校法人誠和学院 日本工科大学校

### 学生たちが数カ月にわたり 建設工事現場でインターンシップ

姫路市にある日本工科大学校では毎年、当協会の後援で「産官学連携インターンシップ」を実施しています。環境建設工学科の学生たちが約3カ月間、受け入れ企業の建築工事現場に週1回入り、建物が完成するまでの工程について技術者から指導を受けながらさまざまな経験を積むというものです。

4月18日には、姫路建設会館ホールで平成30年度後期インターンシップの閉講式と31年度前期インターンシップの開講式が開催されました。同校の片山俊行校長、当協会姫路支部長の三木健義氏に続き、実習の受け入れ企業である(株)ノバック品質安全部部長の難波利行氏、(株)赤鹿建設執行取締役工事部部長の岩戸康弘氏があいさつ。30年度後期に参加した学生による報告の後、31年度前期のインターンシップ生が真剣に取り組むことを宣誓しました。



決意表明

| 平成30年度後期インターンシップ                     |            | 平成31年度前期インターンシップ                     |  |
|--------------------------------------|------------|--------------------------------------|--|
| 平成30年10月18日～31年1月31日                 | ◀ 日程 ▶     | 令和元年5月9日～8月1日                        |  |
| (仮称)アルファステイツ五軒邸<br>式番館新築工事現場(姫路市五軒邸) | ◀ 実習場所 ▶   | パレ・ロワイヤル田寺東ウエストコート<br>新築工事現場(姫路市田寺東) |  |
| 環境建設工学科1年生7人                         | ◀ 参加者 ▶    | 環境建設工学科2年生8人                         |  |
| (株)ノバック                              | ◀ 受け入れ企業 ▶ | (株)赤鹿建設                              |  |



型枠工事(第6回・11月29日)



基礎型枠解体工事(第7回・12月6日)

### インターンシップを終えた学生の感想

#### 座学では想像できなかった部分を 現場で見聞きし勉強になりました

三村 茉由 さん

初めて事務所に行ったのは、10月でした。緊張と期待で、ドキドキワクワクしていたのを覚えています。

私たちが体験させて頂いたのは五軒邸のマンションの工事でした。週に1度の3時間程度の時間の中で、基礎から2階が建つまでの経過が見られました。学校の座学で勉強する中で、最も想像しにくい工程だったので、本当にタイミングが良かったなと思います。

初日に見たアースドリルは想像したより大きく、驚きました。杭も、教科書で見て想像していたものよりずっと大きく、実際に見て、説明を聞くことは本当に大切だと感じました。安全・衛生についての講話も、納得いくものが多かったです。全員で安全に気をつけることが大事だなと思いました。

私たちは週に1度の体験でしたが、行くたびに工事現場の風景が変わって、驚きました。一番驚いたのは、1階ができていた時です。前回全くなかったものが、1週間でいきなりできていたので、自分の概念がくつがえされた感じがした。

数ある作業の中で一番楽しかった作業はハッカーでの結束作業です。全部で4回程ありました。最初はコツをつかむのに時間がかかりましたが、何回もやるにつれて上達していき、楽しかったです。でも、先生や職人の人の作業を見ていると自分の10倍並みのスピードでやっていたので、見ていて気持ち良かったです。

現場でのインターンシップを通して、学校で学習している内容の理解がより深まったのが一番良かったなと思いました。ありがとうございました。



インサート工事(第9回・1月10日)

#### 現場での疑問はすぐに解消 今後につながる経験になりました

井上 紗良 さん

私は、後期インターンシップに参加して現場の厳しさや大変さを学ぶことができました。

普段、学校では学ぶことのできない現場の雰囲気や、教科書では分かりにくかった所を実際に見ながら企業の方に分かりやすく教えて頂くことができてとても良い経験になりました。施工のインターンシップは初めてだったので最初は不安でしたが、企業の方々が優しく笑顔で受け入れて下さり、説明ごとに「質問はありますか?」と問いかけて下さったおかげで気になった所はすぐに質問することができ、疑問をすぐに解消することができました。

施工のインターンシップは大変でしんどいというイメージが大きかったですが、笑顔で楽しくインターンシップに取り組むことができて、この経験を今後に活かしていきたいと思います。今回のインターンシップでお世話になった三浦さん、前田さん、岡さん、ありがとうございました。みなさんから教わった知識や技術を学校の授業でも活かして資格取得に役立てていきたいと思っています。



レベル確認・型枠工事(第11回・1月24日)



セバ折り(第12回・1月31日)

# 県立東播工業高校

## 高校生たちが校外学習で 建設現場での作業を体験実習

加古川市の県立東播工業高校土木科の3年生38人が、5月10日、三田建設技能研修センターで現場体験型実習を受けました。建設現場の見学・実習を通して職業観を育み、専門教科の理解促進や進路決定に向けて意識を明確にすることなどが目的。生徒たちは4班に分かれ、建設企業OBを中心に熟練の技術を持つ講師陣の手ほどきを受けながら擁壁を組み立てて型枠を製作したほか、小型移動式クレーンやつかみ機、油圧ショベルの基本操作を学びました。



オリエンテーション

|      | 1、2班        | 3、4班    |
|------|-------------|---------|
| 午前 ▶ | 型枠の製作       | 建設機械の操作 |
| 午後 ▶ | 建設機械の操作     | 型枠の製作   |
|      | まとめ(各班から発表) |         |



擁壁の組み立て



小型移動式クレーンの操作体験

### 参加生徒の感想

#### チームワークの大切さを 実感しました

後藤 来希さん

今回の体験実習で学んだことはたくさんありました。クレーン実習のときは上下、左右だけの操作でしたが、微妙な調整などがとても難しかったです。これが、なかでもいちばん難しかったです。つかみ機実習のときは講師の方がわかりやすく教えてくださったのでとても簡単に作業をすることができました。ぼくはつかみ機が一番簡単に作業をすることができました。しかし、どの機械も右と左で操作することがいっばいで頭は真っ白になって、少し焦った部分もありました。

油圧ショベル実習は思っていた以上にレバーが軽くて速く動くので、少し難しかったです。ショベルで土をすくったら土がたくさん取れて便利だなと実感しました。型枠実習は作業的には簡単で単調な作業だと感じました。しかし、一人では絶対にできないと思います。掛け声など、チームワークがとても大切な仕事だと思います。あの短時間でハンマーでの釘打ちが少し上手になった気がしてとても楽しく作業ができました。

暑い中での作業が当たり前だと思いますので、甘いことは言えません。とてもいい体験ができました。本当にありがとうございました。

#### 見るとやるとでは大違い 機械の操縦の難しさを体感

細川 翔さん

私が一番目を経験した実習は、つかみ機実習です。この実習では、円柱のコンクリート塊をつかみ、持ち上げました。他の人が操縦しているのを見るととても簡単そうでしたが、実際にやるとものすごく難しかったです。

2つ目は油圧ショベルです。つかみ機と一緒に操縦が難しかったです。その中で僕が感じたことは、ショベルのほうが機械のパワーがあるなということです。操縦しているときに一度だけレバーを動かすととても揺れてびっくりしました。

3つ目はクレーン実習です。これが一番簡単そうに思えました。注意したことは荷揺れです。少しレバーを急に動かすだけで大きな荷揺れを起こすので、ゆっくりと慎重にクレーンを操作しました。

最後は型枠実習です。さまざまな部品や工具を使って型枠を組み立てていきました。型枠の1つの面を組み立てるだけでも、とても時間がかかりました。最初に自分が思っていたよりもはるかにしんどくて、それをあっという間に作ってしまう先生方が誇らしく思えました。

今回の経験を今後活かせるようにがんばっていきたいと思います。1日お世話になりました。



油圧ショベルの操作体験



つかみ機の操作体験

# わがまち自慢

## SHOP & SPOT

会員イチオシの店・スポットを紹介します。▶今回は 淡路支部



（株）森長組総務部総務課  
神田年美さんのおすすめ

### 和風カフェ 菓のん



▲菓のんセット1,400円（税別）

和スイーツ  
好きには  
たまりません

お店の存在を知ったのは、会社の人からわらび餅を買ってきてくれたのが最初でした。どの商品も素材そのものを生かした手作りで、甘いもの好きの私にはにんまり。休みの日には友達とゆっくりお茶を楽しんでいます。イチオシは、スイーツ4種に飲み物が付いた「菓のんセット」。いろんな種類を少しずつ味わえます。ランチもあって、これがまたいけるんです！

南あわじ市神代地頭方955-1  
TEL.0799-20-5048  
営業時間／  
3～9月：10時～19時  
10～2月：10時～18時  
定休日／火曜、第2月曜



### カフェレストラン 海



▲海老ハンバーグ2,300円（税込）

シェフの料理は  
もちろん  
眺めも最高！

シェフが夫婦で自作したこだわりのログハウスからは大阪湾を一望でき、漁船や大型船の往来を眺めながら食事を楽しめます。私のおすすめは「海老ハンバーグ」。地元産を中心に厳選食材のおいしさを引き出した、シェフ自慢のボリューム満点メニューです。ちなみにこのお店、朝ドラ女優、芳根京子さんの写真集の撮影場所にもなったそうですよ。

淡路市佐野634-1  
TEL.0799-70-1353  
営業時間／9時～11時、  
11時30分～20時  
（各30分前L.O.）  
定休日／月曜  
（祝休日の場合は翌平日）



津名土木（株）代表取締役  
葉坂年弘さんのおすすめ

### ごっさかいと 五斗長垣内遺跡



太古の  
ロマンに  
思いをはせて  
みませんか

弥生時代後期に鉄器作りをしていた集落跡とされる、丘陵地にある遺跡です。日本列島の鉄器文化の幕開けがこの地では…となれば自慢したくなるもの。家島諸島の島影が浮かぶ播磨灘の景色もぜひ見てほしいので、晴れた日の夕日の沈む時間帯がおすすめです。太古の昔に思いをはせながら、ロマンチックな時間を過ごしてください。

五斗長垣内遺跡活用拠点施設  
淡路市黒谷1395-3 TEL.0799-84-0484  
見学時間／9時～17時  
定休日／月曜（祝休日の場合は翌平日）  
入場料／無料

### チャレンジモール福良「CAP」



▲ビーフ100%ハンバーガー680円、淡路イノブタドッグレギュラー750円（いずれも税込）など

島の  
食材が光る  
メニューが  
いっぱいです

今年7月にオープンしたばかりのコンテナを活用した複合商業施設で、淡路島の食材を使った店が6店舗入っています。友人がカレー屋とハンバーガー屋を出店しており、島に観光に来た知人をよく連れて行きます。どの店もテイクアウト専門ですが、敷地内にイートインスペースがあるので、ぜひ気軽に島の食材を味わいに来てください！

南あわじ市福良甲1526-2  
営業時間／11時～17時  
定休日／水曜



### ダイニングバー 酒林



▲地元由良産の新鮮な鰻をたっぷり使った鰻すき（1人前概ね3,000円、写真は3人前）

蔵元直営  
ならではの  
充実ぶりです

淡路島の酒蔵「千年一酒造」が営業している店で、新鮮な魚を中心に、島の旬の料理と地酒を味わえます。洲本市のコモード56商店街にあり、この女将とは親子3代にわたっての付き合いです。日本酒のメニューが充実しており（もちろん全て千年一酒造のもの）、大吟醸酒や特別純米酒の3種飲み比べセットもあるので日本酒好きにはおすすめです。

洲本市本町6-2-26  
TEL.080-6113-1366  
営業時間／  
17時30分～23時30分  
定休日／月曜



### 洲本レトロこみち



昔懐かしい  
町並みが  
残っています

淡路で唯一の映画館「洲本オリオン」近くの細い路地に、古い町家や古民家を改装したレトロでおしゃれな雰囲気のレストランや雑貨屋がたくさんできています。数年前、店舗を誘致する地域活性化事業に携わったのを機に知りました。城下町の面影を残すとても狭い通りなので、車は近くの有料駐車場に停めて、歩いて来てくださいね。

洲本オリオン  
（洲本市本町5-4-8）周辺





## 完成したときの達成感は格別 監理技術者として 全体を見渡せるよう勉強中です

窪田工業(株) (神戸市) 玉川 豊さん



「土木工学科で学んだことを仕事に生かしたい」と、平成23年、大学を卒業と同時に建設業の道へと進んだ玉川豊さん。転勤のない企業で1カ所に腰を据えて働くことを希望し、神戸市垂水区にある総合建設業の窪田工業(株)に入社しました。

以来、先輩たちの後をついて回りながら監理技術者として必要な知識を蓄え、4年目の秋には初めて現場代理人を経験。現在は高潮浸水被害を防ぐために神戸市中央区で進行中の、集めた雨水をポンプ場へ送る貯留管を地中に築造する工事で主任技術者を務めています。作業者の安全が確保されているか、設計図通りに造られているか、材料は満足いく品質のものが届いているかなど、責任者として常に現場に目を光らせ、不測の事態に迅速に対応するのが主な任務です。

最も記憶に残っている仕事には、2年目に携わった橋梁の補修工事を挙げます。「設計図通りにすると国道2号を完全に通行止めに

する必要がある、それを避けるために先輩が新たに提案した工法は当時の自分にはとても思い付かないようなものでした。いろいろなことを経験し、知っていなければその発想は出てこないなと実感し、現場であったことを一つずつ覚えていこうと意識が変わりました」

今後の目標は、最近少しずつ学んでいるところだという原価管理をマスターすること。工事全体を見渡ししながら複数の事柄を同時にカバーできるようになりたいと、ステップアップを誓います。



### OFF TIME オフタイムの楽しみ



小学校から大学までずっとバスケットボールをやっていました。社会人になってからはプレーしていなかったのですが、最近になってまた始めたくなり、今年の5月から社会人サークルに月1回ペースで参加しています。バスケットボールが好きなのでとても楽しく、いいリフレッシュになっています。

**PICK UP!**  
**Engineer**  
**期待の技術者**  
建設業界で活躍する  
若手従業員を紹介します。

#### 玉川さんのキャリアの歩み

- 入社1年目  
現場の基礎的な部分を学ぶ
- 入社2年目  
2級土木施工管理技士を取得
- 入社4年目  
国道2号揖保川大橋耐震補強工事で初めて現場代理人を務める
- 入社6年目  
1級土木施工管理技士を取得
- 入社7年目  
現場代理人として従事した  
東ヶ辻二号谷川砂防えん堤工事が  
さわやかな県土づくり賞を受賞
- 入社8年目  
平成30年度  
兵庫県若手優秀施工者賞を受賞